

あかるく かしこく たくましく

令和6年11月6日 No. 28 文責：校長 佐野紳二

名言シリーズ第2弾 スポーツ選手の名言

10月の終わりから11月にかけて、日本では野球のクライマックスシリーズと日本シリーズが、アメリカではワールドシリーズが行われました。大谷翔平選手と山本由伸選手が所属するロサンゼルス・ドジャーズがワールドシリーズに出場したこともあり、日本でも例年以上にMLBのワールドシリーズが盛り上がっていた印象があります。(私も土日にはBSでワールドシリーズを視聴していました)

もう少し身近なところでは、国民スポーツ大会で駿台甲府高校のハンドボール部が3冠を成し遂げたり、楡形中学校の野球部・駅伝部が県大会で優勝したりと、まさにスポーツの秋真っ盛りといった感じです。

そこで、今日はNo.25で紹介したマンガの名言に続き、スポーツ選手が残した名言の数々を紹介します。名言を残したスポーツ選手は、その道で何かを成し遂げた方がほとんどなので、「成功するために必要なこと」といった趣旨の言葉が多いようですが、参考になったり励まされたりする言葉もたくさんあると思います。

まず自分にできると信じなければ、できるようにはならない。

—— マイケル・ジョーダン (元バスケットボール選手)

髪の毛一本分でも可能性がある限り、あきらめない。

—— ジーコ (元サッカー選手、元日本代表監督)

なんで他人が俺の進む道を決めんねん。

自分の道は、自分が決める。

—— 本田圭佑 (日本のプロサッカー選手)



征服するのは山ではなく自分自身だ。

—— エドモンド・ヒラリー (登山家、人類初となるエベレスト山頂到達に成功)



どれだけ本気になれるか。それに尽きる。

—— 石川祐希 (男子バレーボール選手)

小さいことを積み重ねるのが、とんでもないところへ行くただひとつの道だと思っています。

—— イチロー (元メジャーリーガー)

次に紹介するのは、冒頭にも名前が出てきた LA ドジャーズの大谷翔平選手の名言です。



- ・ やれるかやれないかではなくて自分次第。
- ・ 怖さ、プレッシャーあつての楽しさ。
- ・ (目標などは) 思うより書いた方が実行できると思う。
- ・ 常識にとらわれたくない。
- ・ 自分の限界を作りたくない。
- ・ 今の僕の体は、まだ最低基準にも達してないと思っています。

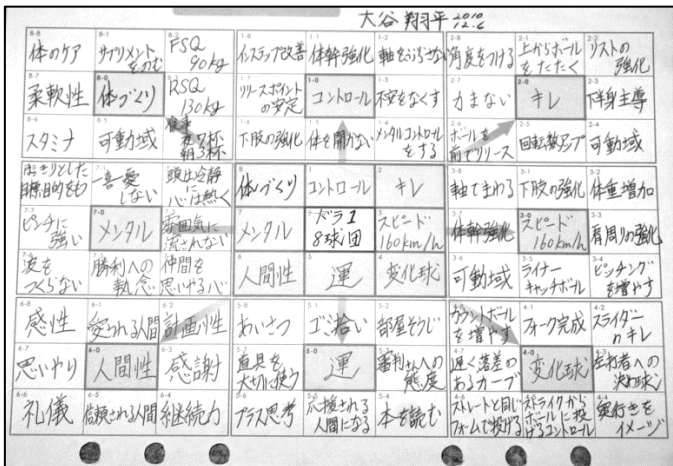
- ・ 成功するとか失敗するとか僕には関係ない。それをやってみる事の方が大事。
- ・ 悔しい経験がないと、嬉しい経験もない。
- ・ 無理だと思わないことが一番大事だと思います。無理だと思ったら終わりです。

- ・ 誰かがやった後に続くんじゃなくて、誰かがやったことをやるんじゃなくて、その上をとにかく超えていく。何か大事を成し遂げた人って、人々がムリだって不可能だって言ったことに対して『いや、できる』と思ったものが新しいものを作っていった。

大谷選手といえば、高校3年生の時に書いた「人生設計シート」や、高校1年生の時に監督の指導の一環で作成した「マンダラチャート」が有名です。「人生設計シート」は大谷選手が将来何をしているか(目標など)を年齢別(18歳~70歳)に書いた、自分の人生を設計するためのシートです。現役時代の主な目標は以下の通りです。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 18歳：メジャー入団 | 23歳：WBC日本代表 |
| 19歳：3A昇格、英語マスター | 26歳：ワールドシリーズ優勝、結婚 |
| 20歳：メジャー昇格、15億円 | 28歳：男の子誕生 |
| 21歳：ローテーション入り、16勝 | 30歳：日本人最多勝 |
| 22歳：サイヤング賞 | 32歳：ワールドシリーズ2度目の制覇 |

マンダラチャートとは基本的には3×3の9マスの枠で構成されていて、さらに9マスの枠を別に複数書き、81マスで構成し、多くの場合「目標達成」の用途で使われています。



大谷選手をはじめ、スポーツの世界で成功した人は、その類稀なる才能があつてのこととは思いますが、それと同じくらい「強い意志・信念」や「毎日の力の積み重ね」が大切なのだということが、その言葉の端々から感じ取ることができます。

我々もこうしたスポーツ選手の言葉に勇気をもらいながら、日々何かに向けて頑張っていく姿勢を大切にしたいものだと、改めて感じることができました。

← 大谷選手が書いた「マンダラチャート」